

海洋教育写真コンテスト入賞作品の紹介3



海の風景とくらし部門の最優秀賞、初声中学校2年生の齋藤梨華（さいとうりんか）さんの作品です。タイトルは「波雲」。

空は青、灯台、波、そして雲は白、色のコントラストが鮮やかです。シャッターを切った瞬間、撮影した齋藤さんの心も踊ったことでしょう。

じっくりと見ていると、空も雲も波も、そして灯台もこちらを見つめているかのようにも感じます。

優秀賞、三崎小学校4年生の高橋匠（たかはししょう）さんの作品です。タイトルは「海を見る花」。

海浜植物にスポットを当てた写真の入賞は、初めてのことで、青空と雲が、そよ風を感じさせるオレンジ色の花「ハマカンゾウ」を引き立てています。ハマカンゾウが、海に向かって、何かを語りかけているかのようです。作品全体から未来へ向かって歩む勇気をもたらしたような心持ちになります。



同じく優秀賞、南下浦小学校6年生の若林月（わかばやしつき）さんの作品。タイトルは「海は夏、空は秋」です。

空と海。青に染まった風景に、三浦らしさがしっかり表現されています。

夏を彷彿させるウインドサーフィンと、秋らしい雲が合わさって、まさにタイトルの通り「夏の海」と「秋の空」を感じさせる作品です。手前の磯もほっとする三浦らしさを感じさせます。



同じく優秀賞、上宮田小学校1年生の井上大海（いのうえひろみ）さんの作品です。タイトルは「きっとあしたはいいてんき」。

画面一杯に弧を描く虹。その瞬間をしっかりとカメラに収めました。「朝虹は雨、夕虹は晴れ」ということわざがあるそうです。この写真を撮影したのが8月30日の夕方。次の日は、きっといい天気だったことでしょう。

同じく優秀賞、上宮田小学校5年生の長塚舞（ながつかまい）さんの作品で、タイトルは「きれいな三浦海岸と馬」です。

三浦海岸では、乗馬クラブの馬を浜辺で見ることができます。広い砂浜と広がる海。馬もきっと気持ちよくたたずんでいることでしょう。まさに、「三浦らしい風景」を見事にカメラに収めました。



同優秀賞、旭小学校2年生の三橋巧季（みつはしこうき）さんの作品です。タイトルは「水平線」。

畑、小高い丘、堤防、船、海、雲、空、そして水平線。様々な要素がバランスよく収まっている作品です。空と海との接点である水平線に注目すると、今までとは違った三浦の風景の良さが見つけられるかもしれません。

（文責 事務局長 渋谷）